令和７年度　授業計画
ビジネス情報科・ビジネス科　３年Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ組

教　科　名	英　語	科 目 名	英語コミュニケーションⅡ（２単位）
使用教科書	BIG DIPPER English Communication Ⅱ（数研出版）	副　教　材	BIG DIPPER English Communication Ⅱベーシックノート （数研出版） ビッグ・ディッパー高校英語（数研出版） BIG DIPPER レッスンブック　Grammar in 21 Lessons（数研出版） Word Navi　英単語・熟語3000（啓林館）

１　科目のねらい（目標）

英語学習の特質を踏まえ、以下に記す五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。
日常的な話題について、多くの支援を活用すれば、
１．必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。
２．必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。
３．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。
４．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝えることができる。
５．基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを文章を書いて伝えることができる。

２　科目・授業の内容と進め方

・ Warm Up では、写真を参考にしながら聞き取ります。Hintsを参考にして自分の考えを伝えます。
・ Text Reading では、英語らしいリズムと発音で読めるように音読練習をします。新出単語や読みにくい単語のアクセントの位置等もしっかり確認します。その後内容読解を行います。英語話者が英文を理解するように、英文の語順のまま理解します。登場人物や文章のスタイル等に注意しながら、本文の内容を読み、概要や要点を把握します。
・ “Main　Information”では、レッスンに出てきた語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す、書くことをします。その後″Try　It　Out″で本文に関連したテーマについて聞き取り、その内容について話し合い、書き、発表します。“Grammar for Expression”では本文で扱った文法事項を理解し、それを用いて正しい文章を書けるようにします。
・ 本文やまとめのページを通して、異文化に触れ、理解を深めます。

３　学習の方法

・授業中に分からない単語に出会ったときや英作文を書くときは、積極的にWord　Navi（単語帳）を活用します。
・教科書の内容や人の意見に対して、自分なりの考えを発言できるようにします。
・学年末には、自分の意見や考えを英語で表現できるようになることを目指しています。

４　課題・補習について

・ ベーシックノートはレッスンごとに点検を行います。
・ 教科書の補充としてのプリントを用いて学習します。
・ 授業中に副教材『Word Navi 英単語・熟語３０００』を使って単語テストを行います。
・ 授業中や休暇課題として副教材『ビッグ・ディッパー高校英語』・『BIG DIPPER レッスンブック』を使って、文法の学習をします。
・ 定期考査後、理解が十分でない場合には、再試などの補習を行います。

５　観点別学習状況の評価ポイント

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・単元に関する英文を聞き、その内容を理解する技能を身に付けている。 ・Hints の語句を用いて、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。 ・新出単語・表現や Hints for understanding の言語材料、文型を理解している。 ・新出単語･表現の言語材料の用法の理解を基に単元の内容を読み取る技術を身に付けている。 ・本文に関連するテーマについて 50 語程度の英文を聞き、その内容を理解する技能を身に付けている。 ・本文で扱った文法事項を理解している。	・それぞれの写真に適当な英文を選ぶために、話された内容の概要を捉えている。 ・単元の内容について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ・各 Part の本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしている。 ・聞き取った内容を簡潔にまとめるために、話された内容の概要を捉えている。 ・自分の気持ちや考えを伝えるために、ターゲットとなる文法事項を用いて質問に答えたり、短い英文を書いたりしている。	・それぞれの写真に適当な英文を選ぶために、話された内容の概要を捉えようとしている。 ・単元の内容について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ・各 Part の本文の内容について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりしようとしている。 ・自分の気持ちや考えを伝えるために、ターゲットとなる文法事項を用いて質問に答えたり、短い英文を書いたりしようとしている。

ビジネス情報科・ビジネス科　３年Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ組

教科名	英　語	科目名	英語コミュニケーションⅡ　　（２単位）

６　年間の学習計画

月	単元名	学習活動（指導内容）と到達目標	評価の場面 ・方法
4 5 6	Lesson 6 Wakamiya Masako: The World’s Oldest Game App Developer	８１歳でゲームアプリを作った若宮正子さんの活動などについて ・SVC（C=現在分詞/過去分詞） ・受動態の分詞構文 ・〈助動詞＋have＋過去分詞〉 ・SVOC（C=過去分詞）	行動観察 課題・レポート 単語テスト 振返りシート パフォーマンステスト **定期考査**
7 8 9	Lesson 7 Learning from Nature	自然界の生物をヒントにして開発されたものについて ・省略 ・動名詞の意味上の主語 ・未来進行形〈will be＋～ing〉 ・完了形の不定詞〈to have＋過去分詞〉	行動観察 課題・レポート 単語テスト 振返りシート パフォーマンステスト **定期考査**
10 11	Lesson 8 The Wisdom of Preserving Food	保存食の魅力と可能性 仮定法過去完了 ・〈as if＋S’＋仮定法過去〉 ・Without ～ ・命令文（レシピ）	行動観察 課題・レポート 単語テスト 振返りシート **定期考査**
12 1 2	Lesson 9 The Sharing Economy: Something for everyone?	シェアリングエコノミーとは ・未来完了〈will have＋過去分詞〉 ・無生物主語構文①〈enable＋O（人）＋to-不定詞〉 ・SVC（C = that節） ・無生物主語構文②〈make＋O（人）＋原形不定詞〉	行動観察 課題・レポート 単語テスト 振返りシート パフォーマンステスト **定期考査**